

2016-17年度ライオン誌日本語版委員会 第3回会議 報告書

日 時：2016年10月4日(火) 13:30～16:30

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事	佐藤 宜之 (大分ライオンズクラブ)
国際理事	中村 泰久 (埼玉県・大宮北ライオンズクラブ)
委員長	石井 博之 (334複合地区／三重県・津中央ライオンズクラブ)
編集長	佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズクラブ)
委員	久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ)
委員	佐々木忠康 (331複合地区／北海道・小樽ライオンズクラブ)
委員	渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)
委員	矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	莊 英 隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)



石井委員長の開会あいさつと、前回会議で話し合った今年度会議の持ち方についての確認が行われた後、佐藤、中村両国際理事からあいさつと国際関係の報告があり、続いて石井委員長、佐藤編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

8月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。今月は月次で約340万円の収支差額が生じ、累計では5,454,543円の黒字となっている。

2. 公式版ライオン誌編集者会議

10月25～26日にドイツ・ベルリンで開催される公式版編集者会議は、佐藤編集長が都合により出席出来ないため、石井委員長の了承を得て小柴委員に代理出席をお願いし、受諾して頂いたことが報告された。今回の会議では、主にライオン誌のデジタル化について議論されることから、委員会としての質問事項を小柴委員に伝え、会議で確認して頂くこととする。

3. ServannAへの会費請求データ抽出機能追加

前回会議で、各地区・複合地区、及び日本ライオンズの会費請求について、請求書算定用の会員数を自動算出し、更に請求項目を各地区が選択・追加出来るシステムの構築について、システム会社と交渉することが承認された。これを受け、莊ITアドバイザーと共にシステム会社と話し合った結果、請求書算定用会員数のデータ抽出に絞っての見積が提出された (見積額297,000円)。

これに関連して佐藤国際理事から、9月29日に開催されたIT委員長連絡会議において、MyLCIとServannAの接続 (eMMR) を切り離す方向で話が進んだことから、ServannAに費用を掛けて機能追加をするのが適当か、委員会で慎重に審議して頂きたいとの示唆があった。それを踏まえて検討した結果、MyLCIの日本語対応と同システムへの2バイト・データの移行、更には35地区分の会費請求データ抽出などが、どの程度の期間で実装されるのか分からない

中、事務所スタッフが手作業で35地区の異なる会費請求内容に対応し続けるのはリスクが大きいと判断し、今回の機能追加については実行することとする。ただし、ライオン誌日本語版委員会としても、今後はeMMR切断を前提にServannAの管理に当たることを確認した。

4. 2016年10月号(9月20日見本/95,500部発行)出来

主要記事を紹介し、委員から意見を求めた。今月号の特集は「ライオンズクラブ統計」、「国際理事だより」は佐藤宜之国際理事の担当、「編集室」は佐藤義則編集長による今年度編集長方針だった。

5. 2016年11月号記事内容の確認

事前に配布された11月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集「フードバンク」、「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。9月7日に行われた国際会長公式訪問と、その前後の会長スケジュールを4ページで掲載する他、首相官邸表敬訪問はライオンズ・ニュース・カセットで紹介する。本部からの記事配信が遅いため照会したところ、今月は12月号との合併号として100周年記念号を発行するため指定記事の配信はないとの回答があり、予定していた国際会長メッセージとLCIF関係の記事がなくなった。そのため台割を変更し、特集記事を追加することで対応した。

6. 2016年12月号台割(案)と主要記事予定

12月号以降の台割案と主要記事予定が提出された。

前回会議で12月号特集を「傾聴ボランティア」としたが、メインで取り上げる予定だった取材が先方都合で中止となった。そこで特集テーマを「高齢者支援」に変更し、高齢者との交流や触れ合いを目的としたアクティビティをレポートすると共に、傾聴ボランティアも含めた心の支援について考える企画とする。12月号のその他の記事は「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：小柴登司委員」。また、10月号で開催告知に協力したFWT全日本女性フォーラムを取材し、この号に掲載する。

本部版の11-12月合併号が100周年記念特別号となり、その記事配信が近々あることから、2017年1月号特集は「国際協会100周年」とすることが提案された。同企画は前年度委員会で提案され、本部版の企画に合わせて実施することになっていたため、国際協会が100周年を迎える1月号で掲載することが改めて提案され、承認された。1月号のその他の記事は「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：矢野敏明委員」。この号で11月9～12日の香港フォーラムを取材し記事にすると共に、その後に行われるナレシュ・アガワル国際第1副会長の公式訪問を取材し紹介する。

2月号特集は「アラート」で、後方支援などライオンズとして取り組めるアラート活動を中心に上げると共に、各地区で作成している災害対策マニュアルや、LCIFの災害準備交付金の内容なども材料の一つとして検討する。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：中村房雄委員」。この号で、国際平和ポスター・コンテストの各複合地区最優秀賞の紹介と、シカゴ国際大会代議員資格証明用書式（指定記事）を掲載する。

主要記事のうち特集企画は、3月号が「糖尿病の実態」とし、医師でもある渡邊委員の協力を得て専門家の原稿を掲載すると共に、海外の事例も含めた糖尿病関連アクティビティを紹介する。前回会議で採択した「子どもの貧困」（久津間委員提案）は今月号特集「フードバンク」が同様の問題に焦点を当てた記事になっているため今年度後半の掲載にずらし、4月号以降の特集企画については、前回会議での持ち越した案と、前年度委員会からの引き継ぎ案、また100周年記念シカゴ国際大会に向けた企画などの中から、次回以降の委員会で改

めて検討する。

7. ライオン誌デジタル化

- デジタル化アンケートについて、前回会議で提出されたアンケート項目案に対し、各委員から出された意見を反映させた最終案が提出された。更に、佐藤編集長から「デジタル版に期待すること」という項目を追加することが提案され、それを入れたものをライオン誌委員会のアンケート実施案として、一般社団法人理事会に提案する。
- バックナンバーのデジタルアーカイブ化について、前回会議で指摘された「基本設定は全記事検索」「検索方法の説明追加」「ページがまたがった場合の検索」の修正が完了したことから、ライオン誌記事検索システムを現行のデジタル版の中で公開する。今月後半の編集者会議後に、前回会議で承認されたデジタル版製作システムの変更を実施した際には、迷わずに該当ページへ入れるよう配慮する。

8. その他

- 佐藤国際理事から、香港フォーラムでの100周年記念展示について協力依頼があった。当初、フォーラム組織委員会からの要請は、日本の八複合地区それぞれのブースを設けるという案で、これを基に各複合地区が対応してきたが、先般急に方針変更が表明され、日本で一つのブースにして頂きたいとの話になった。そこで昨日10月3日に開催されたガバナー協議会議長連絡会議において、基本的に日本全体としての展示を行うことを確認し、展示物については資料がそろっているライオン誌日本語版委員会に依頼することになったとの報告があり、委員会としてこれを了承した。なお、336複合地区については広島でOSEALフォーラムを開催する予定であることから、日本全体とは別の展示を行いたい意向であることも伝えられ、同地区と協調しながら作業を進めることになった。
- 事前資料として送付されたライオン誌サポーター・アンケートの追加分が提出され、その内容を確認した。
- 前回会議で石井委員長から提案された一般社団法人理事会への要望事項（ライオン誌日本語版の編集・発行に対する最終的な責任は委員長、編集長が負うが、取材のための出張申請等、日常業務に関しては部門責任者を設けて頂きたい）について、佐々木委員と矢野委員から結果報告があり、出張申請も含めライオン誌の業務に関わる100万円未満の支出については、佐々木委員がライオン誌担当理事として決裁に当たり、それを石井委員長に報告する手順になったことが説明された。

閉会あいさつ 石井博之委員長

【次回以降委員会開催予定】

11月2日(水)	13:30~16:30	第4回会議	日本ライオンズ事務所
12月9日(金)	14:30~17:30	第5回会議	日本ライオンズ事務所
1月12日(木)	13:30~16:30	第6回会議	日本ライオンズ事務所